

新ドクター & 新職員
しょうがい
新職員 34 名を迎えてスタート



今年度、城北病院・診療所は、医師 2 名、看護師 16 名、保健師 3 名、放射線技師 1 名、理学療法士 4 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 1 名、社会福祉士 1 名、薬剤師 1 名、事務 1 名の新入職員を迎えました。

若い力でより活性化される城北病院・城北診療所を、これからもよろしくお願い致します。



小児科
飯村 雄次 医師

4 月から小児科として着任いたしました飯村雄次（いいむらゆうじ）と申します。当科では以前より小児アレルギー診療に力を入れており、近年は食物アレルギーの経口負荷試験（外来・入院）、減感作治療（経口免疫療法）にも積極的に取り組んでいます。毎週月・火・水・金曜日にはアレルギー外来（要予約）を行っております。アレルギーでお困りの患児がございましたら、お気軽にご相談ください。



初期研修
岩本 和恵 医師

4 月から初期研修医として城北病院で頑張っている岩本和恵です。充実した 2 年間で過ごせるように自分の力加減をしっかりと理解しながら患者さんに向き合っていけたらと思っています。よろしくお願い致します。

私たちがめざすもの 医療福祉宣言
城北病院 城北診療所 2014

- 1 患者様の立場に立つことを大切にします。
- 2 患者様への情報提供と合意づくりに努めます。
- 3 安全安心の医療・福祉の提供に努めます。
- 4 安心して住み続けられるまちづくりに努めます。
- 5 人権を守り無差別平等の医療・福祉を目指します

発行 城北病院 医療福祉連携相談室

〒920-8616 金沢市京町 20-3
TEL 076-251-6111 FAX 076-208-5231
http://jouhoku-hosp.com E-mail renkeisitu@jouhoku.jp



城北病院医療福祉連携相談室だより
JO-HOKU No. 38
2015.6.1 spring

無差別平等の医療・福祉活動の実現をめざして
城北病院 開設 65 年、新病院着工！



城北病院 副院長・看護部長 野村 鈴恵



1956 年 12 月城北診療所開設 (19 床)

1956 年 12 月城北診療所開設 (19 床) 現在の城北病院 (314 床) となっています。一貫して無差別平等の医療・福祉活動の実現をめざして、この 65 年間、地域の皆さん、患者さん、そして友の会の方々に支えられて活動してきました。

先日、がんターミナルの患者さんが、新幹線を見たいと願い、『北陸新幹線の旅—富山まで新幹線に乗ってきます！』を実現しました。新幹線開通に向けた金沢駅開発の際に転居を余儀なくされ、駅前に自営業を営みながら、何十年・・・新幹線開業を心から待ち望んでいたとのこと。患者さん、ご家族を交え、医師をはじめとして多職種参加のチームを組み、用意周到に準備をしての実現は、患者さんご自身は勿論、私たち医療者にとっても大きな喜びとなり、明日への力となりました。

「すべての者が到達可能な最高水準の身体および精神の健康を享受する権利」を健康権として明記した国際人権規約が 1966 年に国連で採択され、日本は 1979 年に批准しています。憲法 25 条「生存権、国の社会的使命」を真に実現する道は、国が「すべての国民の生存権・健康権を保障する」という視点に立ってこそ実現できるのではないかと考えます。

新病院建設に向け、いつでも、どこでも、誰もが、安心して生活ができ、健康の維持発展ができるよう、平和な国づくりと共に「患者の立場に立ち、患者の要求から出発し、患者とともにたたかう看護」（民医連の看護の三つの視点）無差別平等の医療活動の実践を積み重ねていきたいと思います。



2004 年 4 月北病棟開設
回復期リハ病棟・医療型療養病棟開始

城北病院外科の取り組み



城北病院副院長・外科部長
三上和久

4名の常勤医で
24時間対応可能な体制をとり、
地域の外科診療に貢献いたします

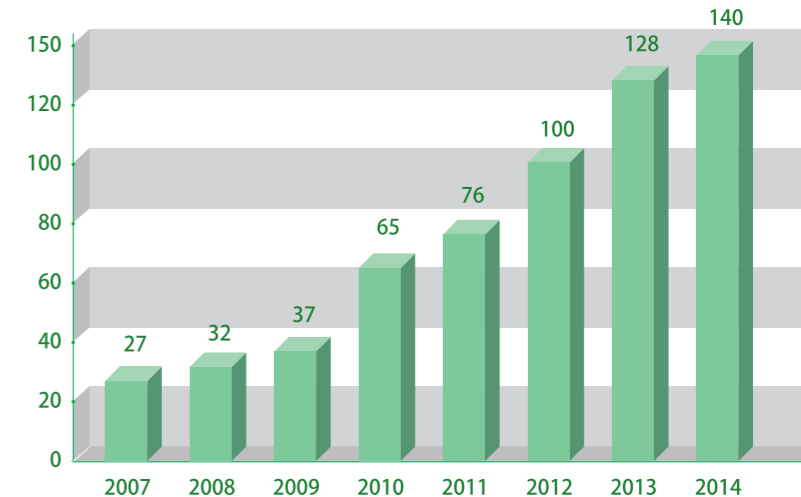
城北病院の外科では、消化器・乳腺甲状腺・呼吸器・末梢血管などの手術を中心に、外科全般の診療を行っ

ています。常勤スタッフは4名で、年間350例ほどの手術を行っています。夜間や休日にもオンコール体制で、救急疾患や緊急手術には24時間対応可能な体制をとっています。地域の先生方には、がんや良性疾患の待機手術が必要な患者さんはもちろんのこと、緊急手術の適応となるような救急疾患の患者さんは夜間や休日を問わずにいつでもご紹介頂きたいと思えます。また外科疾患の治療方針などにお悩みの場合、お気軽に電話でも構いませんのでご相談頂きましたら、外科医が責任を持ってお答えいたしますので、当院の外科をご利用頂ければ幸いです。

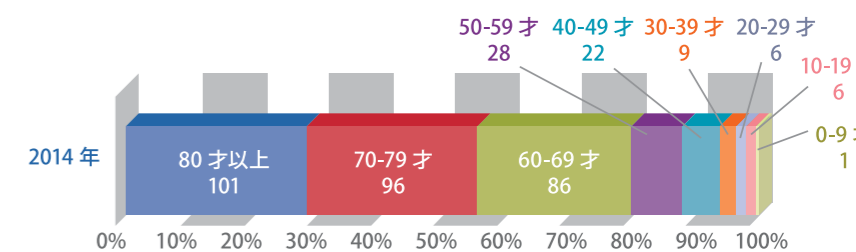
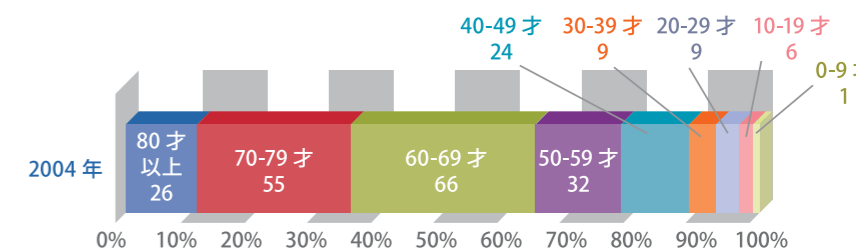
腹腔鏡手術に力を入れ、高齢者や併存症のある患者さんにも低侵襲で負担の少ない手術をご提供いたします

当院では以前から腹腔鏡手術に力を入れており、最近では胃がん・大腸がんの8~9割、胆石胆嚢炎の9割、虫垂炎と鼠径ヘルニアは全例を腹腔鏡にて

手術を行っています。年々腹腔鏡手術数は増加しており、今では腹腔鏡が当たり前のアプローチ法となっています。一方で高齢化に伴い手術を受ける患者さんの高齢化もすすみ、最近では80歳以上の手術が珍しくなくなってきました。80歳以上の手術症例数は10年前と比べると11%→28.5%へ増加し、絶対数では約4倍に増加しております。腹腔鏡の大きなメリットである「低侵襲性」はこのような高齢者にこそ恩恵が大きく、高齢者や併存症のある患者さんにも負担の少ない安全な腹腔鏡手術をご提供いたします。一方で若い方には腹腔鏡の「繊細でハイクオリティ」のメリットを活かした、攻めの腹腔鏡手術をご提供いたします。今まで高齢や併存症のために治療をためられていたような方でも、ベストの治療をご提案いたします。



腹腔鏡手術症例数 (2007年—2014年)



全手術患者の年齢分布 (2004年・2014年)

抗がん剤治療や緩和医療は、
専門の「腫瘍内科」が行います

がんの治療は手術だけではなく、抗がん剤治療も大きな治療の柱となります。また残念ながら治ることが難しいがんの患者さんは、緩和医療の適応となります。多くの病院ではこれらの抗がん剤治療や緩和医療は、外科医が手術の片手間に行っている



腫瘍内科
佐藤 到

ことが多いのが現状です。城北病院では2014年10月から腫瘍内科を立ち上げ、日本臨床腫瘍学会の「がん薬物療法専門医」である佐藤到医師が抗がん剤治療と緩和医療を専門家の視点から行っています。腫瘍内科による良質でかつ懇切丁寧な治療をご提供できるため、抗がん剤治療や緩和医療が必要な患者さんを是非、ご紹介頂きたいと思えます。また当院は「新病院建設」を予定しており、2015年12月着工、2019年2月竣工を目指しています。現在は緩和ケア病床を運用していますが、新病院では緩和ケア病棟を新設し、更に充実した緩和医療をご提供いたします。

三上 和久	副院長 外科部長	消化器外科 内視鏡外科	日本外科学会 専門医・指導医 日本消化器外科学会 専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本内視鏡外科学会 技術認定医・評議員 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
斉藤 典才	副院長 医療福祉連携相談室室長	肛門科 麻酔科 ペインクリニック	日本外科学会 専門医・指導医 日本消化器外科学会 専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 麻酔科標榜医 日本がん治療認定医機構 暫定教育医
中村 崇	外科医長	乳腺甲状腺 呼吸器外科	日本外科学会 専門医 日本乳癌学会認定医 高気圧酸素療法専門医 マンモグラフィー検診読影認定医 日本プライマリ・ケア連合学会 認定プライマリ・ケア認定医・指導医
古田 浩之	外科医長	消化器外科	

施設認定 外科学会、消化器外科学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会、呼吸器学会、静脈経腸栄養学会、がん治療認定医機構